

市議会議員

VOL46 特別号



赤川ようじの 市政レポート

発行 赤川ようじ事務所 〒359-1151埼玉県所沢市若狭3-2383-25
TEL. 04-2947-3967 FAX. 04-2947-3966

2月15日（日）は狭山ヶ丘中エアコン設置を決める住民投票の投票日です。

全国的に話題になった「エアコン問題」、この賛否を住民で決める住民投票の日が迫ってきました。投票日は2月15日（日）で期日前投票は2月9日（月）から行われます。議会では平成24年16000人の署名で請願が提出され、それが採択され、さらにエアコン設置求める決議も採択されました。また弁護士会からも設置を求める意見書が提出されましたが、それでも藤本市長はエアコン設置に反対し続けたため、最後の手段としての住民投票です。住民投票は所沢市政始まって以降初めてのことで、4300万円の費用がかかっています。この住民投票条例では投票率に係わらず開票することが決定されています。また投票率に係わらず市長は投票結果を重んじなければなりません、「賛否のいずれかが、有権者の3分の1以上に達した場合、市長はその重みを斟酌しなければならない。」とされています。まず投票率を上げなければなりません、地域により偏りがでることが予測されます。地元の皆さん是非、家族、知り合いの方に呼びかけていただき、投票率を上げるためにご協力お願い致します。

住民投票で問われているのは29校にエアコンを付けることではありません。

藤本市長は「この住民投票は78億円をかけ財政の厳しい折、29校にエアコンを設置するのか、しないのかを問うのが住民投票だ。」と言っていますが、これは間違いです。

この住民投票で問われているのは、「平成18年の防音校舎に関する整備方針すなわち、宮前小学校、狭山ヶ丘中学校、北中小学校に暖房設備の改修と同時に冷房設備を平成26年までに設置することで、その他の26校舎については今後検討する。」を復活させるかどうかです。

この住民投票請求の趣旨に書いてあるのですから間違いありません。藤本市長はそれを勝ってに解釈し、市内全域でその旨の発言をし、その趣旨のビラをつくり、職員に配布させたり、公民館に置いたりしています。また市の広報にも間違った内容を載せようとしたりしていますが、私はこの事を委員会で追及しました。広報の中立性は住民投票条例でもうたわれており大切なことです。皆さん注意して投票をお願いします。

市長は何のために、2億円で学校木質化をしようとしているのか。

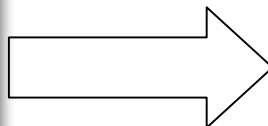
藤本市長の意見の矛盾点

- 市長はエアコンを付けると福祉予算が削られると言っていますが、福祉予算とエアコンは予算編成上まったく別物です。福祉予算は国の法律に基づいて補助金を得て行っており、市が勝ってに削ったりできません。
- 市長は自らの選挙公約のため、校舎内木質化（中学校2校、狭山ヶ丘中、中央中の全教室の壁に板を張る工事）を約2億円かけて行おうとしています。これこそ優先順位の低い工事です。またこの工事はすべて市の負担で、この費用で狭山ヶ丘中と北中小に冷暖房の工事ができます。
- 市長は東日本大震災における、福島原発事故で電気に対する考えが変わった、地球温暖化防止が大切だと言っていますが、狭山ヶ丘中で設計されているのはガスヒートポンプ方式で電気を使わず、現在防音校舎で使われている重油を燃料とする暖房方式より、遥かに地球温暖化を防止できコストも割安です。
- 市長はエアコンを防音校舎29校に設置する78億円かかると言っていますが、これは暖房工事入れた額であり、老朽化した重油方式の暖房設備をガス方式に変えた場合、冷暖房と暖房のみでは値段はあまり変わりません。

エアコン設置は今や文科省の方針で、災害対策上、学校は指定避難場所にもなっており、防音校舎でなくても全国的に設置の方向です。設置率 飯能市、さいたま市、東京都内など100%、神奈川県71.3% 狭山市61% 所沢市 3%



投票用紙は賛成に



	○
反	賛
対	成

赤川ようじ 市政ホットライン

お気軽にあなたの市政に対する質問、要望をお寄せください。

TEL.04-2947-3967 FAX.04-2947-3966

E-mail tokorozawa@y-akagawa.jp URL <http://www.y-akagawa.jp>